

センターからの お知らせ

道路技術者実務講習会を開催

(財)北海道道路管理技術センターでは、公益事業の一環として毎年各種の講演会や講習会を開催していますが、その一つに「道路技術者実務講習会」があります。これは当センターと道内各地区の建設業協会が共催で、現場の第一線で道路事業を推進している技術者の技術力を一層向上させる目的で実施しているものです。講習会の内容は、工事



の契約から竣工までの一連の流れのポイントや、工事用図面の作成、数量算出方法など、実際の現場に即役立つように工夫されています。講師は、北海道開発局各開発建設部の道路技術係長や当センターの職員があたります。

今年度は、10月8日から30日にかけて、留萌、函館、空知、札幌、小樽の5地区で開催され、あわせて400名を超える技術者が参加しました。各会場では、講師の説明・解説のあと、受講者はグループに分かれて、実際のケースを想定した実務演習に入り、土工やのり面、路盤、擁壁工などの図面作成や数量計算に熱心に取り組んでいました。演習後は、講師と参加者によるフリーディスカッションなどもあり、厳しい中にもなごやかな風景が見られました。

平成11年度は、旭川、室蘭、帯広、釧路、網走、稚内の6地区で開催を予定しています。奮って参加して下さい。

編集後記 From Editorial Room

- 私50歳代、読者層の20～40代のセンスに合致しているのか、自問しています。若人の参画を望みたい。(T. M)
- 金融ビッグバン、公共事業のコスト縮減等厳しい社会経済環境下であり、最近、土木技術者全体の元気がなくなった感がある。道路整備は建設の時代から維持の時代に入った。その先は、北欧の例からすると「高質化の時代」と予想される。それは、本誌のサブタイトルである「安全で快適な道路環境の創出」そのものであり、今後も本誌が情報発信源であるよう願っている。(K. U)
- 「10月22日、第2白糸トンネル崩落事故で代替ルートに建設が進められていた新白糸トンネルが貫通し、来春に開通の見込み」と報じられた。
日本海沿線の道路を通ると、いたるところで急崖地に張り付くようにして防災工事が行われている。これらの多くは、厳しい地形のうえ、昼夜を通しての作業。さらに、海から吹き上げる寒風と過酷な環境下で工事が行われている。
工事関係者の苦労を思うと、一日も早く工事が無事に完成することを願わずにはいられない。次号では、国道229号開通の朗報を載せたいものである。(N. A)

「北の交差点」とは…

古来、道が交わる場所では、人々の交流が生まれ、さまざまな文化が育ってきました。『北の交差点』というタイトルは、安全で快適な道路環境の創出を目指して、維持・管理に関係する「人」や「情報」が交流するところをイメージしています。

安全で快適な道路環境の創出を目指す技術情報誌

北の交差点 VOL.4

●1998年11月発行

●発行／財団法人北海道道路管理技術センター

〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目 東京建物札幌ビル6F TEL 011-736-8577 FAX 011-736-8578

●編集・発行人／財団法人北海道道路管理技術センター

●制作／株式会社須田製版C P C

●印刷／株式会社須田製版